

SPQ9000シリーズ Q&A

分類	症状	確認事項	原因	対処
プラズマ系	プラズマが点灯しない	マッチングエラー点灯 イグナイターが補助ガス管の根元についているか	マッチング不良でTUNE1とTUNE2が左右片側にズレすぎている イグナイターの劣化と共に放電パワーが弱くなる	TUNE1とTUNE2を点検等のデータに合わせるか中心にする。 イグナイターの交換
	プラズマが一瞬点灯するがすぐに消灯してしまう プラズマが明滅する	トーチとスプレーチャンバーのすりあわせが良いか、クリップ確認 スプレーチャンバードレインにトラップ液が入っているか	トーチ及びスプレーチャンバー間より試料ガスの漏れあり トラップ液がないとArガスが圧力のため抜けて明滅する	クリップの交換 ドレインに純粋を入れる
分析系	強度が出ない	質量軸、トーチ位置、プラズマ条件、検出器電圧での調整 検出器電圧が-2600V以上 検出器電圧自動調整出来ない。 クォーツボンネットの飛び出しと、シールドが正常に入っているか	原因は多項目あります。 検出器の劣化 シールドがワークコイル内に正常に入っていないと強度が低くなる	各調整項目の確認をしても強度が出ないときは、 弊社までご連絡ください。 検出器交換、弊社までご連絡ください。 クォーツボンネットとシールド部の位置調整
	強度が徐々に落ちてくる	Qポール電圧を一側に下げると感度が上がる。	Qポールの汚れ	Qポールの保守交換
	安定性が悪い	トーチとスプレーチャンバー間からガス漏れがないか イオンレンズ電圧	試料ガス漏れがあると圧力変動が起き安定性が悪化する イオンレンズの汚れにより、短期安定性が悪化	クリップ交換 イオンレンズの保守交換
	低、高マスで一部感度が出ない	異常履歴でQマスフェイラーが出ていないか	Qマスフェイラーが出ている場合、Qマスコントローラ故障、DC電源故障 Qポールの放電	修理が必要なので、弊社にご連絡ください。
	真空引きが出来ない	異常履歴の確認 TMP1及びTMP2フェイラーが出ていないか RP故障	出ている場合、ターボ分子ポンプもしくは電源の故障 ロータリーポンプの故障	交換が必要なため、弊社にご連絡ください。
真空系	ロータリーポンプからのオイル漏れ	オイルパンから下まで漏れてないか		ロータリーポンプのオーバーホール交換
	ターボ分子ポンプ保守交換 (故障出ない場合)	1年に1回はオイルリザーバ交換 2年に1回はターボ分子ポンプオーバーホール保守交換	軸受け部のボールベアリング摩耗低減	故障の場合は別見積もり
	真空ゲージエラー	異常履歴に検出器圧力上限エラーが出ている	真空ゲージの汚れによる劣化	真空ゲージ保守交換 弊社までご連絡ください。